

入り難きものあり、今四書を并せて坊間その得易き書目を擧ぐれば、山崎闇齋の小學蒙養集大學啓發集(九冊八十五錢)蕃山の大學、或問(二冊三十錢)太田錦城の學庸原解(六冊一圓四十錢)春臺の論語古訓(五冊四十錢)同外傳(十冊一圓二十錢)冢田大峯の家註論語(五冊四十五錢)片山兼山の論語一貫(三冊五十錢)仁齋の四書古義(十冊二圓)安倍井聚の四書輯疏(二十九冊三圓八十錢)大典の四書越俎(四冊六十錢)菅野弘祖の四書驂(三十一冊八圓)松平頼寛の論語徵集覽(十冊一圓七十錢)龜井道載の論語語由(十冊一圓五十錢)等なるべく、又邦刻の朱註四書は道春點(十冊七十錢)後藤點(十冊一圓二十錢)にして、一齋點(十冊一圓)亦多し、その他善本ならず

と雖も四書大全(二十二冊四圓)四書匯參(四十二冊五圓)の邦刻本あり
其他得易き新本の舶裁本は四書匯參(四冊三十二本四圓)四書大全(三十二本四圓八十錢)局刻欽定四書(六冊五十八本十二圓)茄古書局精撰四書合講(二冊六本石印本)翰苑閣刊本四書章句集注便蒙(二套十四本二圓)等なり
周易は邦刻本に、山崎闇齋の易經本義(七冊七十五錢)片山兼山の周易正文(三冊二十八錢)新井白蛾の周易句解(五冊二圓五十錢)伊藤東涯の周易經翼通解(五冊一圓五十錢)中村惕齋の筆記周易本義(七冊三圓五十錢)大橋順の周易述義(七冊三圓八十錢)等あり、又通俗本には新井白蛾の古易精義大成(八冊一圓十八錢)易道早學(十五錢)易學小筌(十五錢)古易斷時言(二十錢)あり

易學啓蒙圖說(十五錢)あり、周易相錯紀圖說(十五錢)あり、其他左の數書あり

周易題說	(五卷寫)	林道春
周易新見	(二十三卷寫)	林恕
周易係辭解	(一卷寫)	熊澤蕃山
周易義例考	(一卷寫)	伊藤東涯
周易經傳通解	(十八卷)	全上
周易本義私考	(十三卷寫)	林恕
周易程傳私考	(十八卷寫)	全上



易學啓蒙私考 (一卷寫) 全上

易學啓蒙筆記 (十卷寫) 三宅重固

易原 (一卷) 皆川淇園

易象發揮 (八卷寫) 土肥貫雄



この他に根本通明の周易象義辨正あり、首卷及一二卷は刊行せられたれども、他は未刊たり、邦人の著述中最も新義しんぎに屬ぞくせり詩には集註頭書(八冊一圓三十錢)毛詩鄭箋(五冊一圓二十錢)の外、冢田大峯の冢註毛詩(十冊一圓二十錢)岡公翼の毛詩品物圖考(三冊八十五錢)長梅外の詩書經評釋(四冊二十五錢)の邦刻本あり、其他は左の數書なり

詩經私考	(三十二卷寫)	林 恕
詩經別考	(二十一卷寫)	全 上
詩經名物詳解	(七卷)	江村如圭
詩經古傳	(三十四卷)	太 宰 純
詩來傳質疑	(三卷寫)	古賀 侗 菴
尙書は、孔安國の尙書古註(五冊四十錢)王栢の書疑(三冊一圓二十錢)黃錯 成陳師凱の蔡傳通考(十五冊一圓二十錢)諸葛繇の焚書收燼(七冊一圓五十錢) 書傳輯錄纂注等の邦刻書の外は左の二三書なり		林 恕
書經集傳私考	(四卷寫)	

書經蔡傳重考	(十五卷寫)	林 信 篤
書經挿解	(八卷)	河 田 興
春秋左氏傳は多く邦人に讀れしを以て、翻刻本あり、増註本あり、 秦鼎の核本(十五冊二圓)陸榮の附注(四冊六十錢)顧炎武の杜解補正(三 冊五十錢)惠棟の補註(三冊五十錢)傅遜の註解辨誤(四冊五十錢)皆翻刻せられ、 其他には貫名海屋の校本左繡(十六冊二圓廿錢)中井履軒の雕題略(六冊六 十錢)安井息軒の左傳輯釋(二十一冊五圓)及び左の諸書あり		
春秋左氏傳詳節句解	(八卷)	野村 藤 陰
傍譯左氏傳	(十五卷)	小畑 行 簡

左傳 觸

(十卷)

岡白駒

春秋三傳校讞

(二卷)

人見臺

春秋備考

(十二卷寫)

次に三禮には、禮記古註(十冊一圓二十錢)周禮(七冊一圓)儀禮鄭註(五冊八十五錢)儀禮經傳通解(十七冊二圓五十錢)等の外、林恕の禮記私考(十一卷寫)中村欽の筆記禮記集說(活字本十五卷)あるのみ

五經全本には五經集註(五十七冊七圓)欽定四經(翻刻本八十五冊十二圓)同じ加賀版(百冊二十圓)あり



漢文研究により經釋を求むるものゝ爲に、前に邦人の著述を摘記せり、されども邦人の著述のみを讀みては、經義の大要を解するに足るも、其眞義を得んこと蓋し難し、經義に一家の見を出さんはこゝに論ずる限ならねど、尙且つ諸家の所説を涉獵すべきこと固よりなるべし、まして先輩の訓話に便りて其意義を釋ねんとする後進の身にとりては、成るべく多く群書に通曉せざるべからず、よりてこゝには支那人の著述を挙げ、以て研究者の一助となすべし

支那人の經釋に關する著書は、其數多くして汗牛充棟も啻なら

ざれば、其詳しさを求むるに於ては、永樂大典目錄(四帙二十本)、四
 庫全書提要(八册十五圓)、朱記榮の増訂彙刻書目(四圓五十錢)、張之洞の書
 目答問(二本七錢)、八史經籍志(六圓位)に就くを可とするべく、皇清經解
 正(六十帙三百六圓)、續(四十帙百二圓)二篇の書目にて、到底この小冊子に摘
 記し難き程なり、故に本編には其總義ちぎに關するものと、主要の
 もののみを擧ぐべし、但しこの篇に擧ぐる所の書は、邦人の著
 書を讀得て然る後に入るべき、易道門に屬するを以て、音韻訓
 詁の書はこれを除くこととせり
 經釋の書、首に總義に屬するものを擧ぐ

經典釋文	(三十卷)	陸元朗
七經小傳	(三卷)	劉敞
程氏經說	(七卷)	
刊正九經三傳沿革例	(一卷)	岳珂
融堂四書管見	(十三卷)	錢時
十一經問對	(五卷)	何異孫
簡端錄	(十二卷)	邵寶
經典稽疑	(三卷)	陳耀
欽定緒譯口書	(二十九卷)	

第二章 經釋の研究

經問及經問補

(二十一卷)

毛寄齡

十三經義疑

(十二卷)

吳浩

九經古義

(十六卷)

惠棟

經種

(六卷)

鄭方坤

十三經註疏正字

(八十一卷)

沈廷芳

群經補義

(五卷)

江永

經咫

(二卷)

陳祖范

古經解鈎沈

(三十卷)

余蕭客

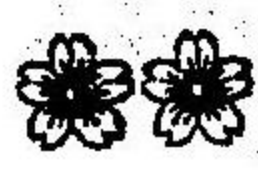
(以上は四庫全書經部總義中より抄出す)



經學卮言

(六卷)

孔廣森



群經識小

(八卷)

李惇



經讀考異

(八卷)

武億



經室集

(七卷)

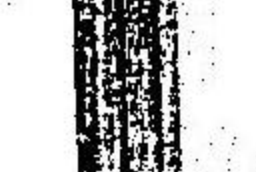
阮元



經傳釋詞

(十卷)

王引之



經傳攷證

(八卷)

生彬



日知錄

(一卷)

顧炎武



經義雜記

(十卷)

臧琳

第三編 漢文學研究法

經史問答

(十卷)

全祖望

十駕齋養新錄

(四卷)

錢大昕

讀書脛錄

(二卷)

孫志祖

讀書雜誌

(二卷)

王念孫

經義叢說

(三十卷)

嚴杰補

有竹石軒經句說

(七卷)

吳英

經義考

(五十本)

朱彝尊

更に四書に關するものを擧ぐ

四書或問

(三十九卷)

朱熹

四書集編

(二十六卷)

真德秀

四書纂疏

(二十六卷)

趙順孫

四書辨疑

(十五卷)

劉因

讀四書叢說

(四卷)

許謙

四書通

(二十六卷)

胡炳文

四書通證

(六卷)

張存中

四書疑節

(十二卷)

袁俊翁

四書經義貫通

(八卷)

王充耘

四書纂箋

(二十八卷)

詹道傳

第二章 經釋の研究

四書通旨

(六卷)

朱

四書管窺

(八卷)

史

四書大全

(三十六卷)

胡

四書蒙引

(十五卷)

蔡

四書因問

(六卷)

呂

四書留書

(六卷)

章

日講四書解義

(二十六卷)

康

四書近指

(二十卷)

孫

四書講義困勉錄

(三十七卷)

陸

公

逕

璿

廣

清

純

帝

逢

其

隴

奇

熙

世

純

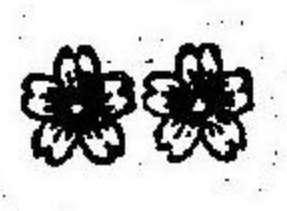
世

世

世

世

世



四書臚言及補

(六卷)

毛

奇

齡

四書釋地續又續三續

(五卷)

閻

若

璩

四書劄記

(四卷)

楊

明

時

柴軒四書說

(九卷)

焦

袁

鄉黨圖考

(十卷)

江

永

四書逸箋

(六卷)

程

大

中

(以上四庫全書經部より抄出す)

四書考異

(三十六卷)

翟

灝

四書釋地辨證

(二卷)

宋

翔

鳳

第三編 漢文學研究法

四書稗疏

(四卷)

王夫之

論語に關するものを左に擧ぐ

論語義疏

(十卷)

何晏註皇侃疏

論語正義

(二十卷)

何晏註邢昺疏

論語筆解

(二卷)

蘇軾

論語拾遺

(一卷)

陳祥道

論語集註

(十卷)

朱熹

論語意原

(三卷)

鄭汝諧



癸巳論語解

(十卷)

張栻



論語集說

(十卷)

蔡履節



集註考證

(十卷)

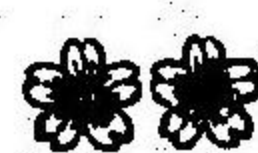
全履祥



論語類考

(二十卷)

陳士元



論語商

(二卷)

周宗建



論語學案

(十卷)

劉宗周

第三編 漢文學研究法

(以上四庫全書經部四書類より抄出す)

讀論語劄記

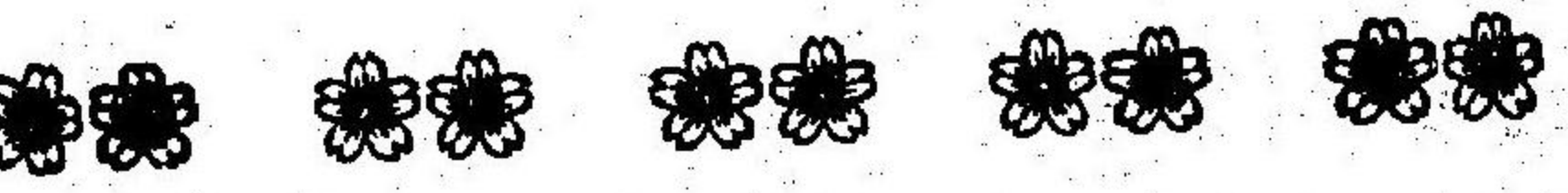
(二卷)

李光地

論語稽求篇

(四卷)

毛奇齡



- 論語駢枝 (一巻)
- 論語校勘記 (十一巻)
- 論語補疏 (二巻)
- 論語述何 (三巻)
- 論語偶記 (二巻)
- 論語說義 (十巻)
- 論語魯讀考 (二巻)
- 論語古註集箋 (二十巻)
- 論語正義

劉 台 拱
 阮 元
 焦 循
 劉 逢 祿
 方 觀 旭
 宋 翔 鳳
 徐 養 原
 潘 維 城
 劉 寶 楠



論語鄭義

(二巻)

俞 樾
劉 恭 冕

何休註訓論語述

次に易解を擧ぐれば、端木の周易指(二十四冊六圓)潘元懋の周易廣義(十二冊三圓八十錢)沈揆庭の周易便蒙(四冊一圓六十錢)張振淵の周易說統(十二冊四圓五十錢)吳邦逕の讀易瑣記(二冊一圓三十錢)汲古閣本の周易集解(四冊六圓)木瀆周氏刊本の同書(二本四圓)李道平疏の周易集解纂疏(十二冊十圓)漢魏二十一家易註(八冊九圓)誠齋易傳(五冊三圓)郭雍の傳家易說(八冊六圓)何楷の古周易訂詁(八冊九圓)同欄外朱批黃道周易說(十二冊十二圓)黎世序撰の河上易註(六冊七圓)來知徳の來氏易註(十二冊三圓)の諸本あり、新



本には惠棟の易漢學(二本五十錢)孫星衍の周易集解(六册一圓七十錢)あり
 尙書には、宋黃倫の尙書精義(十二册六圓)閻若璩の古文尙書疏證(八册
 四圓)段玉裁の古文尙書撰要(六册五圓)王鳴盛の尙書後案(八册五圓)吳光
 耀の尙書正辭(十六册四圓)熊禾の書經訓解(一册三十五錢)任啓運の尙書約
 註(二册一圓五十錢)等よかるべし、詩經には嚴粲の詩緝(十册十圓)胡荒珙
 の毛詩後箋(二十册十圓)劉粲の嚴氏詩緝補義(四册四圓)あり、新本には
 毛詩訓傳鄭箋(四册一圓二十錢)よからん、三禮には乾隆勅選の三禮義
 疏(十六套百六)は大成せるものなり、其他には惠士奇の禮說(三册二圓五
 十錢)魏了翁の禮記要義(八册三圓五十錢)徐瑄の禮記體註(十册一圓)等可なら



んか、春秋には杜預の春秋釋例(八册一圓五十錢)杜林合註(六册七十錢)杜註
 補輯(十六册二圓)朱元の説約(八册一圓六十錢)朱申の詳節句解(六册一圓五十錢)儲
 欣の春秋指掌(十册一圓六十錢)左繡十六本二圓五十錢)魏禧の左傳經世鈔(十册四
 圓)等なるべく、又顧棟高の春秋大事表(二十册八圓五十錢)あらば大に
 可なり

君子之學惟求得其心、雖至於位天地、育萬物、未有出於
 此心之外也、孟氏所謂學問之道無他、求其放心而已矣
 者、一言以蔽之、故博學此者也、審問者問此者也、慎思
 者思此者也、明辨者辨此者也、篤行者行此者也、心外無
 事、心外無理、故心外無學

王陽明紫陽書院集序

第三章 子解の研究

支那の思想界を飾る紛披たる奇葩は、儒門の書にあらざして全く諸子百家の書あり、周末は恰も一器に江漢の水を盛るが如く、老莊楊朱の説、儒説と相交錯して思想の豊富を示せり、漢の五行説、六朝の老釋、異色なきにあらずと雖も、響細く韻微なり、宋以後に至つては儒教の威壓甚だしく、一家の見を具するものにして皆名を儒教に藉れ、究明する所性理の微に入り天地の妙に參すと雖も、尙桎梏多くして歩々踟躕することを免れず、こ

れ實に思想界の一厄ならずや、故に諸子の學を講ずるものは、首として周末の諸家の著述を見るべく、程朱陸王も亦これに附看すべし、但し宋明の學は、一面は經學の註疏として見るべく、又一面は諸子として見るべし、必ずしも其名に拘泥することを要せず、然してこれ等思想界の全面に至りて研究をなせるもの、彼我共に多からず、遠藤隆吉の支那哲學史（二冊一圓五十錢）支那思想發達史（二冊一圓四十錢）高瀬武次郎の楊墨哲學（一冊一圓五十錢）の如きは其一なり、全本としては十子全書（六帙三十二冊）二十二子全書（十二帙八十冊）崇文書局の百子全書（十四帙百十三冊）等あり、普通は十子全書にて事足

るべし

其各解本をいへば、老子には、王註老子道德經の翻刻本(二册四十錢)あり、林希逸の老子經(二册三十五錢)あり、蘇註老子道德經(二册三十八錢)あり、佐藤牧山の老子講義(六册一圓)廣瀬建の老子摘解(二册三十錢)

金蘭齋の老子國字解(三册三十五錢)等得易く、其他は

- 老子標註 (二卷) 林道春
- 老子特解 (三卷) 太宰春臺
- 老子妄言 (二卷) 豊浦懐
- 老子道德經會元 (三卷) 三家元珉

老子正訓問義

(二卷寫)

戸崎允明

老子講義

(六卷)

佐藤楚材

老子全解

(五卷)

太田晴軒

等にして近刊本には小宮山綏介の老子講義(列子孫子吳子を并せ一册二十五錢)尤も簡易なり、根本通明の老子講義(二册五十錢)は頗る新説多し、支那本には、焦絃の老子翼(四册三圓五十錢)同じ郭乾泗校の老子元翼(四册四圓)魏源の老子本義(二册一圓)等を可とすべし、莊子には翻刻本に、郭註莊子(十册一圓二十錢)秦鼎の補義莊子因(六册一圓二十錢)林註莊子(十册一圓)あり、其他に東條保の補義莊子因標註(六册一圓七十錢)宇津木益夫の解

莊(二十四冊六圓五十錢)毛利貞齋の莊子俚諺鈔(十二冊二圓三十錢)杜多秀峯の郭
 註莊子駁言(十二冊三圓五十錢)あり、新本には大野雲潭の莊子講義(三冊
 七十五錢)大田才二郎の莊子講義(二冊五十錢)の活字本あり、又

莊子抄

(十卷)

莊子考

(六卷寫)

戸崎允明

莊子神解

(二卷)

葛西質

莊子註疏

(十三卷)

等の書あり、支那本には、宜穎註の南華經解(二冊二圓)朱得之の莊
 子通義(五冊)性通の南華發覆(六冊二圓五十錢)潘基慶の南華經註(四冊四圓)陳

壽昌の南華經正義斥讖餘(六冊七圓)王氏註莊子(二冊一圓半)沈貫一の莊

子通(五冊)陸西星の莊子副墨(八冊)陳治安の莊子本義(八冊七圓)劉鴻典の

莊子約解(四冊二圓五十錢)等珍本なれば、寧ろ新本の陸德明音義(四冊一

圓二十錢)陸樹芝の莊子雪(六冊一圓二十錢)等の求め易きに如かず元來莊

子の如き想像の豊富にして文字の恢詭なる書は、先人の註疏に

依傍せんより、自家直に心解するを善讀の法となす、このこと

唯初學者の爲にはいふべからざるのみ

荀子は、久保筑水の荀子増註(十冊二圓)楊偉原註猪飼敬所補遺(十一冊

一圓五十錢)猪飼敬所の荀子考(寫二卷)岡白駒の荀子解(寫二卷)新本にて村

岡良弼の荀子講義(二冊五十錢)あり、支那本には、楊偉註(六冊八十五錢)王先謙の荀子集解(六冊一圓五十錢)共に新本にて得易し、墨子は、畢沅註(四冊八十錢)墨子問語(六冊五圓半)の外、邦書にて、戸崎允明の墨子考(寫四卷)あり、鬼谷子には皆川淇園校本(三冊三十錢)あり、子華子にも翻刻本(三冊三十五錢)あり、管子は、朱長春の管子權(明刻本八冊五圓)王紹蘭註管子地員編註(四冊二圓五十錢)房玄齡註(六冊一圓三十錢)の支那本の他に、安井息軒の管子纂註(十二冊三圓)同補正(二卷)戸崎允明の管子考(寫三卷)猪飼彦博の管子補正(二卷)等あり、但し管子纂註一部にて事足るべし、韓非子は、邦刻にて津田鳳卿の韓非子解詁(十冊二圓廿

錢)藤澤南岳の評釋韓非子全書(十冊一圓七十錢)、新本にて小宮山綏介の韓非子講義(二冊五十錢)あり、太田方の韓非子翼叢(寫二十卷)參看すべし、支那本にて浙江書局の韓非子(六冊一圓)は至つて得易し、他に善本を見ず、呂氏春秋は、高誘註本(六冊一圓五十錢)陳仁錫評本(四冊八十錢)あり、淮南子は、邦刻本(十三冊一圓五十錢)莊達吉の活字本箋釋(六冊一圓二十錢)あり、孫子は、官版孫子十家註(四冊一圓廿錢)犬飼博の孫子活說(二冊廿五錢)源世元の孫子合契(二冊二十錢)神田勝久の孫子俚諺抄(三冊四十錢)徂徠の國字解(十冊六十錢)柴田春篤の孫子通解(三冊四十錢)岡白駒の魏武註孫子(一冊十錢)の諸本の外尙

孫子解	(二卷)	河田孝成
孫子詳解	(十三卷)	伊藤馨
孫子諺解	(寫十三卷)	林道春
孫子副詮	(一卷)	佐藤一齋
孫子折衷	(附錄一卷)	平山潜
孫子一覽	(寫十三卷)	
孫武兵法擇	(寫十五卷)	新井君美

等一覽することを得ば充分なり

其他列子(二卷)鄧析子(二卷)尸子(二卷)商子(五卷)慎子(二卷)公孫龍子(三卷)文

子讚義(十二卷)關尹子、陰符經、楊子法言、新語、新書、中說等、
邦刻本あるあり、なきあり、今一々舉げず
宋學に關しては、翻刻本、及び邦人の著述に、朱子語類大全(四十八冊六圓五十錢)朱子文集、伊洛淵源餘(五冊七十五錢)近思錄(五冊八十錢)澤田
希の近思錄說略(五冊一圓)近思續錄(四冊八十錢)近思錄便蒙詳說(二十六冊二圓)の外、新本に小柳司氣太の宋學概論(一本三十錢)あり、象山全集(十冊明刻本八圓)は翻刻本なし、黄宗義の宋元學按(四十八冊七圓五十錢)は新本の載本得易し、
明學は、黄宗義の明儒學案(三十二冊六圓)の他に、翻刻本には、傳習

録(四冊一圓二十錢)王陽明出身靖亂錄(一冊四十錢)陽明先生則言(一冊五十錢)王陽明文錄抄(六冊二圓五十錢)あり、又吉村晋の王學提綱(二冊四十錢)儒門語要(三冊五十五錢)大鹽後素の洗心洞劄記(五冊一圓)儒門空虛聚語(三冊六十錢)あり、新本には、宮内鹿川の傳習錄講義(一冊四圓)高瀬武次郎の陽明學階梯(一冊三十五錢)三宅雄次郎の王陽明(一冊四十五錢)宮内熊藏の王學提掌(一冊一圓)の外王陽明全集の鉛版本出て、佐藤一齋の傳習錄(三冊九十錢)版行せられぬ

其他子部の書の讀むべきもの、唐鑑の國朝學按小識(十二冊二圓八十錢)陸隴其の讀朱隨筆(二冊六十錢)陳宏謀評の呂新吾呻吟語(四冊五十錢)顧亭

林の日知錄(二十冊三圓)桂馥の札樸(六冊三圓五十錢)姜宸英の湛園札記(四冊一圓三十錢)王念孫の讀書雜誌(二十四冊八圓)錢大昕の十駕齋養新錄(八冊一圓八十錢)甌北の陔餘叢考(十六冊五圓五十錢)簞曝雜誌(二冊三十錢)乾隆御撰の日知蒼說(四冊一圓二十錢)王士禛の香祖筆記(六冊一圓八十錢)陳澧の東塾讀書記(四冊八十錢)雷浚汪之昌同撰の學古堂日記(三十二冊十圓)張香濤の輜軒語(二冊二十五錢)勸學篇(二冊二十五錢)俞曲園の茶香四鈔(八冊一圓三十錢)康有爲の新學偽經考(八冊三圓)等尙幾多もあるべし

子部全本には、はじめに擧げたる數書の外に、諸子品彙(二十六冊十二圓)諸子彙函(十六冊十二圓)諸子品節(十二冊十圓)の諸書あり

第四章 史部の研究

邦人の手になりし支那史は、見るべきもの鮮し、翻刻本には善本あり、史記評林の如きはわけて數種あり、鶴牧版（五十冊八圓五錢）修道館版（活字本二十七冊四圓）報告社版（活字本廿五冊四圓五十錢）印刷會社版（活字本五十冊二圓五十錢）嵩山堂の増訂本（五十冊十圓）等なり、資治通鑑には鳳文館版（半紙本活字版七十冊七圓五十錢）印刷會社版（小本活版百冊四圓五十錢）津藩版（百四十八冊十八圓）の數種あり、其他の翻刻本にて得易きもの、漢書（五十冊五圓）後漢書（六十冊十圓）宋元通鑑（四十八冊六圓五十錢）綱鑑易知錄（六十三冊

六圓五十錢）綱鑑補（廿冊三圓八十錢）三國志（四十冊五圓）晉書（五十三冊七圓五十錢）唐國史補（三冊八十錢）五代史（十五冊二圓五十錢）明紀綱目（二十冊二圓五十錢）唐鑑（五冊六十錢）東都事略、南宋書（三十六冊八圓五十錢）宋史新篇（六十五冊十五圓）明朝紀事本末（三十冊三圓五十錢）通鑑摩挲要（十五冊二圓五十錢）二十二史言行略（六冊八十五錢）二十二史劄記（十八冊二圓三十錢）二十二史反爾錄（三冊七十五錢）二十二史纂略撮要（三冊五十錢）等、尙數へ上げなば許多あるべし

支那本にては、全史にて、湖北書局の欽定二十四史全函（五百四十四冊八十圓）あり、圖書集成局の活字本（三百九十四冊九十圓）あり、略本にては、御批通鑑輯覽に石印（二十冊四圓三十錢）鉛版（二十四冊五圓）の二種あり

り、木版は局版(六十冊十八圓)と其他に一本(六十四冊十二圓)あり、この書は石印本にても可なり、七朝紀事本末は鉛版本(五十冊十圓)あり、五朝紀事本末は木版(百三十六冊四十五圓)を用ふ、其他には十七史商確(十六冊五圓五十錢)あり、史表には、万斯同の歴代史表(石印八冊二圓)齊召南の歴代帝王年表(四冊二圓五十錢)あり、人名譜には、吳榮光の歴代名人年譜(十冊二圓七十錢)汪輝祖の九史同姓名略(十二冊六圓)汪煥曾の史姓韻編(石版八冊二圓五十錢)あり、凌廻知の万姓統譜(二十四冊二十圓)あらば最も好し、王先謙の十一朝東華錄(石印八冊二十圓)亦なかるべからず、地理には大清一統志(石版六十冊十八圓)あらば可なり、其他には陳芳績

の歴代地理沿革表(二十冊七圓五十錢)皇朝一統輿圖(十冊六圓)王象之の輿地紀勝(六十四冊十八圓)、其他九通會要等の書、亦要するに従て備置くを可とせん

史部各本は、史記は鍾惺評粗本(二十二冊八圓八十錢)二十三家硃批(二十四冊二十四圓)等の諸本あり、他に史記集解索隱正義札記(二冊一圓六十錢)梁玉繩の史記志疑(二十冊六圓五十錢)あり、其他は漢書注校補、後漢書注補正、三國志注證補合本(二十二冊八圓五十錢)宋書(明版三十三冊十二圓)梁書(全上六冊三圓五十錢)同じく汲古閣本(八冊二圓)周書陳書合本(十二冊三圓二十錢)隋書(二十冊五圓)南北史(五十二冊十八圓)南北史摺華(二冊八圓八十錢)遼史拾遺(八冊三

圓) 舊唐書、同校勘記、同逸文合本(八十冊三十八圓) 新唐書(石印十圓) 舊五代史付考證(石印殿本二十四冊八圓) 遼金元史付考證(全上八十三冊三十八圓) 宋史(百冊二十五圓) 元史(四十冊十六圓) 明史(八十冊二十五圓) 邵平遠の元史類編(十八冊六圓五十錢) 李文田注六朝秘史(四冊二圓半) 元史譯文證補(四冊三圓) 馬縉の釋史(四十冊十二圓) 等の諸本あり、以上凡て坊間得易きもののみを擧げたり

薛文清先生曰、讀史最有益、古人多有明見於事幾之先者、如事之成敗、人之賢否、皆預言於前、而具應於後、此等、殊關人見識

善 德 錄

第五章 文學の研究

支那文學の領域は極めて廣し、上下三千年、東西五千里、これに種族の異同、風尚の純駁を以てす、時を以てすれば先秦と兩漢以後とを分截すべく、性を以てすれば敘事の文と有韻の文とを分つべく、地を以てすれば江の南北、自ら思想の系統を殊にせり、先秦よりいへば、文には尙書、易、論孟、左氏、老莊、戰國策、孫子、管晏二子の書皆それ〴〵の特色あり、詩には葩經三百篇に次て、屈子の離騷あり、文は前の經釋子解の篇に就

て見るべし、詩經も亦然り、離騷は、王逸註楚辭（六冊一圓三十錢）あり、朱文公の楚辭集註（四冊一圓三十錢）あり、漢に於ては、文に司馬遷の史記、班固の漢書あり、共に史部に記せり、其他楊雄の法言（李軌注一冊二十五錢）陸賈の新語、賈誼の新書あり、班固の白虎通（二冊八十錢）應邵の風俗通（二冊六十五錢）劉向の説苑（十冊一圓三十錢）新序（四冊八十錢）は共に翻刻本あり、至つて得易し、詩は、古詩十九首、蘇李の應酬諸作等、文選其他に出づ、若し漢魏六朝百三名家集（百冊二十圓）あらば其全班を知り得べし、蔡中郎集は單行本（二冊二圓五十錢）あり、三國より六朝に入れば、史部に三國志、後漢書以下の書あり、

雜書は漢魏叢書（百二十八冊十四圓）大抵網羅し盡せり、又石印本（十六冊四圓五十錢）あり、文集には文選あり、李善注をよしとす、善注亦李善注文選（十冊四圓）胡刻本（二十四冊八圓）何義門評本（十二冊四圓五十錢）等の諸本あり、單行本には倪魯玉箋註の庾子山全集（十二冊二圓五十錢）諸葛武侯集（十二冊二圓五十錢）影宋本陶集（一冊一圓）集註陶靖節集（四冊九十錢）硃批淵明集（二冊一圓二十錢）あり、邦刻本にも亦文選正文（十三冊一圓三十錢）同音註（二十一冊二圓二十錢）あり、李善註は賦の部（十冊一圓三十錢）のみ、刊行せらる、陶詩は嵩山堂の陶淵明集（四冊三十錢）簡にして可し、唐は詩學の最も發達せる時代なれば、名ある作家の數は殆んど

數ふるに違あらず、其全本には、欽定全唐詩（石印三十二冊八圓）唐名家詩集（三十二冊十二圓）劉長卿の唐詩百名家全集（六十四冊十五圓）等あり、略本には、王荊公の唐百家詩選（六冊三圓）王漁洋選本の唐賢三昧集箋註（三冊一圓二十錢）沈德潛の別載集（五朝全部四十冊二圓五十錢）及び唐詩合解、唐詩三百首、唐詩狐白、唐詩歸等あり、邦刻には干鱗撰と傳ふる唐詩選（三冊十八錢）千葉玄之の同講釋（七冊五十錢）南郭の國字解（四冊三十八錢）大典の唐詩解頤（二冊廿五錢）淇園の唐詩通解（二冊四十錢）等あり、全集には、王子安集（八冊三圓）李太白集（倣宋刻本四冊三圓）王琦の李太白集註（二十冊二圓五十錢）石印本李太白集（四冊一圓）分類補註李太白詩（明本八冊十二圓）五家

評杜工部集（十冊四圓五十錢）楊倫の杜詩鏡詮（十六冊二圓八十錢）仇兆鰲の杜詩評註（二十四冊二圓五十錢）江浩然の杜詩集說（十六冊二圓二十錢）許寶善の杜詩註釋（十二冊二圓）浦起龍の讀杜心解（十二冊二圓）王琦琢の李長吉集（四冊九十錢）汪立名の白香山集（十二冊二圓）憑集梧の杜樊川集註（四冊九十錢）憑浩の李義山全集評註（八冊三圓）顧予咸の溫飛卿詩集箋註（二冊一圓二十錢）趙殿成の王右丞集註（八冊十二圓）顧起經の類箋王右丞集註（八冊二十圓）李賀の昌谷集（四冊三圓）等あり、更に撰集の前に漏れたるを補はゞ、徐增の而菴說唐詩（十二冊一圓六十錢）蔣一葵箋釋唐詩選（一本六十錢）蔣漢紀釋本王氏重訂唐詩十集（十六冊七圓）汝詢の唐詩解（十六冊四圓）康熙勅撰の全唐詩

録(二十四冊十八圓)等あり、皆通覽に値するなり
要するに唐詩を知らんと欲せば、撰集によりて其大躰を知り、
次に李杜王孟韓白諸集によりて其全鼎を味ふべし、杜樊川、李
義山、李張吉の集亦一覽するを要す、又時代によりて唐詩を味
ふには、初唐に、初唐四傑集(十二冊二圓)か、前に擧げたる王子安
集を読み、盛唐には李杜全集を読み、大曆以後に韓詩と白詩と
を読み、晩唐に李商隱、杜樊川等を読むべし、節略本には、乾
隆勅撰の唐宋詩醇(二十四冊三圓二十錢)最も可し
文には、唐宋を合せて簡便なるものに、御撰唐宋文醇(二十冊三圓)

沈德潜の唐宋八大家讀本(十六冊一圓六十錢)あり、乙は邦刻本に頼山
陽の增評本(一圓五十錢)其他數種あり、江蘇書局本に唐文粹(二十冊七圓
五十錢)あり、韓柳文には、韓文起(六冊一圓三十錢)韓文公文鈔(四冊二圓二十
錢)柳文(六冊八圓)あり、文詩合集に昌黎先生全集(十冊四圓)あり、邦刻
本に、秦鼎校本の韓文起(十冊一圓三十錢)韓柳文合冊本(七十六冊十二圓)あ
り、雜著には唐代叢書(二十四冊二圓七十錢)畧々網羅し盡せり、元來唐
には、六朝に次で、志怪の書、演義躰の紀實書ありて、後世に
於ける雜劇小説の原をなせるを以て、其文辭頗る看るべきもの
あり、史氏の書としては純駁一ならずと雖も、開元天寶遺事、

本事詩、酉陽雜俎等、皆珍とするに足るなり
 宋は、詩に於て東坡、山谷、石湖、誠齋、放翁あり、文には歐陽公、梅聖俞、曾南豐、蘇家の父子三人あり、殊に性理の學大に開けて文集、語録の出でしもの多く、雜書には六朝及唐の文華なけれども、理義の至れるもの多く、詩話、雜説の類頗る多し、今其書目を擧ぐれば、文には唐宋詩醇、八大家文の外に、選本にて、莊件方の南宋文範(十六册五圓)董兆熊の南宋文錄(六册二圓)呂祖謙の宋文鑑(二十册七圓)あり、全集には王臨川全集(文詩二十册三圓)歐陽文忠公全集(二十四册十圓)蘇舜欽の蘇學士文集(二册三圓)司馬溫公集(二

十册十二圓)曾鞏の元豐類稿(十二册七圓五十錢)汪藻の浮溪集(八册七圓五十錢)袁變の絜齋集(六册五圓)邵雍の伊川擊壤集(四册二圓五十錢)陳龍川集(十六册七圓)夢喜得の建康集(二册一圓四十錢)李忠定公集(十二册七圓)象山全集(十二册八圓)王龍溪文集(八册八圓五十錢)文文山全集(十二册四圓)あり、邦刻本撰本全本には、文忠公文集(九册一圓)朱子文範(五册四十五錢)東坡山谷題跋(五册四十五錢)蘇長公論策(三册二十五錢)同小品(四册三十五錢)蘇老泉全集(四册一圓)東坡文鈔(二册二十五錢)文定公文鈔官版本(八册二圓五十錢)山陽鈔本李忠定公集鈔(二册三十五錢)文文山文鈔(三册三十錢)等數多あり、詩には、撰本に、汪景龍の宋詩略(六册五圓)伯剛父の宋詩紀事補遺(三十二册十圓)吳之振の宋

詩鈔(二十四冊十六圓)沈嘉轍の南宋雜事詩(四冊二圓)吳綺の宋金元詩永(十冊六圓)あり、全集には、紀昀評本の硃批蘇文忠公詩集(八冊六圓)憑應榴の蘇文忠公合註(二十四冊六圓)王施註蘇東坡詩全集(十六冊五圓五十錢)同編註集成(二十冊六圓)王荊公詩箋註(八冊十圓)山谷全集(二十四冊八圓五十錢)陳后山集(六冊四圓)石湖詩集(四冊六圓)誠齋詩集(六冊一圓六十錢)劔南詩鈔(八冊一圓)秦觀の淮海集(八冊三圓)等あり、邦刻本には紀曉嵐批本の蘇東坡詩集(十冊一圓五十錢)黃山谷詩集註(十冊二圓)林和靖詩集(二冊三十五錢)陳簡齋詩集(五冊六十錢)方秋崖詩鈔(二冊二十五錢)眞山民詩集(一冊二十錢)等其他數十本あり、共に參看すべし

金元には文詩を合せて、その撰本に、莊仲芳の全文雅(四冊一圓十錢)蘇天爵の元文類(十冊三圓五十錢)元好問の中州集(五冊)席世臣補刊の元詩選(二十冊六圓)康熙勅撰の全金詩(三十六冊三十五圓)顧奎光の金元詩選(六冊三圓五十錢)顧嗣立の元詩選(四十冊三十六圓)あり、全集には、王寂の拙軒集(二冊四圓)王若虛の滄南遺老集(四冊六圓)元遺山の元遺山全集(十六冊八圓)元遺山詩集(十二冊五圓五十錢)耶律楚材の湛然居士集(四冊二圓五十錢)薩都刺の雁門集(二冊五圓)趙孟頫の松雪齋集(六冊三圓五十錢)楊鐵崖詩集註(六冊三圓五十錢)あり、又雜劇小説はこの時代に尤も發達したるを以て、必ずこれに寓目するを要す



明には、詩文を合せてその撰本に、明人詩鈔(八冊八圓)朱彝尊の明詩綜(三十二冊六圓)明三十家詩選(八冊二圓八十錢)明詩別裁集(六冊一圓)何潔の明文在(十冊三圓)劉肇虞の元明八大家文選(十二冊五圓)あり、全集に、高季迪大全集(四冊十五圓)李空同集(十冊二十圓)何大復集(八冊七圓五十錢)陽明文錄(二十冊十五圓)王龍溪集(八冊八圓)同語錄(六冊八圓五十錢)升菴全集(四十二冊十七圓)茅坤評本文公文鈔(二冊二圓)宋學士全集(四十冊八圓五十錢)遜志齋全集(十六冊六圓)王文成公全書(二十四冊四圓五十錢)李滄溟集(六冊六圓)弇州山人四部稿(六冊一圓八十錢)唐荆川文集(十二冊五圓)劉誠意全集(十六冊三圓)等可なり、邦刻本には、李滄溟集(五冊一圓)袁中郎集(十七冊三圓五十錢)弇州四部稿(六



冊一圓二十錢)王陽明文錄鈔(五冊四圓五十錢)等あり、其他抄本の邦刻本は尙數十種あり



支那歴代の文學を總攬せるもの、吾には不完全なりとも古城貞吉の支那文學史(一圓八十錢)中根淑の支那文學史要(五十錢)あり、彼には三通考によるの外なし、三通考は石印本を低價にして便なりとす、即ち馬端臨の通考(石印四十四冊五圓五十錢)續通考(二十四冊六圓)皇朝通考(三十二冊五圓五十錢)とす、その各部門に涉りては、左に少しく其概要を擧ぐべし

先秦の文學は、詩書論孟老莊左氏國策の書にあること前に述べ

り、楚辭は亦必ず讀まざるべからざるの書なり、其釋本は、前記の外に、屈復の楚辭新註（四冊四圓五十錢）蔣驥の楚辭（四冊二圓五十錢）あり、參看すべし、漢は史傳に富める外、賦辭亦優る、これは主として史記によるべし、漢書亦讀むべし、三國志亦讀まざるべからず、六朝には六朝文契（四冊一圓二十錢）あれども、李善註文選にて足れり、酈道元の水經註と、鮑謝二集、及び陶集は讀むべし、唐には、文に韓柳、詩に李杜は讀むべし、宋に蘇黃は讀まざるべからず、文は歐蘇にて足れりとせん、或は宋文鑑一部にてよかるべし、金元は中州集を讀む、已むなくは箋註の遺山集を讀

む、又其雜劇を讀む、明には明詩綜あれば事足るなり、清は現代に屬するを以てこゝに擧げず

學者十弊

談心論性類似宋人語錄一弊也
 俳詞偶語六朝靡曼二弊也
 記序不知林裁傳志加寫帳簿三弊也
 優孟衣冠秦仿漢四弊也
 謹守家語空套不自出心裁五弊也
 鉅成語類氣滿紙六弊也
 措詞率易類氣滿紙六弊也
 干邊幅有文無章如枯木寒鴉淡而可厭且受不住一
 平大題日入弊也
 弱數衍襲時文調九弊也
 鈞棘句以艱深文其淺陋十弊也

第六章 音韻訓詁の研究

文字の音釋、古今に大差あり、先秦の經義を稽へんとすれば、先づ先秦文字の音義を知らざるべからず、これ古註の學者間に重ぜらるゝ所以にして、又宋儒の多く註誤を致せる所以なり、然して清儒のこの徵實の學に勉めしなり、學問の稽古に音韻訓詁の一門を開らさ、經釋の眞義は次第に究明せられつゝあり、但しこの學亦敝竇なしといふべからず、牽引拘泥、徒らに博渉を努めて大躰の領會を後にすることあり、されども已にこの學

の開けし以上は、古經の眞義を味はんとするもの、この門逕によらざれば其堂奥に達し難きこと固よりなり、故にこの編に於て難行門を開き、初學者の爲に多少の接引をなさん江藩の著す所の國朝漢學師承記は、これ等學派の系統を記せるものにして、初學必讀の書の一なり、この書附するに、國朝經師經義目錄一卷を以てす、左にその書目のみを掲ぐ、但し江氏著録の意大畧四則あり

- 一、言は經義小學に關せず、意は漢儒古訓に純ならざるものは著録せず、
- 一、其書その名を存すと雖も、實に未だ成らざるものは著録せず
- 一、昔已に行はるゝも未だ見るに及ばざるものは著録せず

一、其人尙存するも、著述僅に前人の傳後に附見するものは著録せず
其意の在るところ已に此の如くなれば、讀者は意を以て多少の
採否を決せざるべからず

〔易〕

易圖明辨(十卷胡渭撰)易說(六卷惠士奇撰)周易述(二十三卷)易漢學(八卷)易例(三
卷)周易本義辨證(五卷以上惠定宇)易述贊(三卷洪榜)周易虞氏義(九卷)虞氏
消息(二卷以上張惠言)易音(三卷顧炎武)

〔書〕

古文尙書疏證(八卷閻若璩)禹貢錐指(二十卷)圖(一卷胡渭)古文尙書攷(三卷
惠定宇)尙書攷辨(四卷宋鑾)尙書後案(三十卷王鳴盛)尙書集註音疏(十二卷)尙
書經師系表(一卷江良庭)

〔詩〕

詩說(三卷惠周揚)毛鄭詩考正(四卷翟震)詩本音(十卷顧炎武)詩音表(一卷錢坫)

〔禮〕

周官祿田考(三卷沈彤)禘祫說(二卷惠定宇)周禮疑義舉要(七卷江永)考工記圖
(二卷戴震)牟服釋例(十卷任大椿)車制考(一卷錢坫)

儀禮鄭註句讀(十七卷)監本正語(一卷)石經正誤(一卷張爾岐)儀禮小疏(一卷沈彤)儀禮釋宮譜增註(一卷江永)儀禮管見(四卷褚寅亮)儀禮正譌(十七卷金日追)儀禮圖(六卷張惠言)禮經釋例(十三卷凌廷堪)
深衣考(一卷黃宗義)明堂大道錄(八卷惠定宇)禮記訓義擇言(八卷)深衣考誤(一卷江永)深衣釋例(三卷任大椿)

附三禮總義

禮說(十四卷惠士奇)禮經綱目(八十五卷江永)禮箋(十卷金榜)

〔春秋〕

左傳杜解補正(三卷顧炎武)左傳事緯(十二卷)附錄(八卷馬縉)春秋長歷(十卷)春秋世族譜(一卷陳厚耀)左傳補註(六卷惠定宇)春秋左傳小疏(一卷沈彤)春秋地理考實(四卷江永)

附三傳總義

春秋說(十五卷惠士奇)

〔論語〕

四書釋地(一卷)四書釋地續(一卷)四書釋地又續(二卷)四書釋地三續(三卷)四書釋地餘論(一卷閻若璩)鄉黨考(十卷江永)孟子字義疏證(三卷戴震)論

語後錄(五卷錢坫)論語駢枝(一卷劉台拱)

附經總義

九經誤字(一卷顧炎武)九經古義(十六卷惠定宇)群經補義(五卷江永)經義雜記(三卷臧琳)古經解鈎沈(三十卷余古農)經讀考異義證(武億)經傳小記(三卷劉台拱)

〔爾雅〕

爾雅正義(三十卷邵晉涵)方言疏證(十三卷戴震)釋名疏證(八卷)釋名補遺(一卷)續釋名(一卷江良燾)小學鈎沈(二十卷)字林考逸(八卷任大椿)說文解字義證(五十卷桂馥)別雅(五卷吳玉搢)

附音韻

音論(三卷)唐韻正(二十卷)古音表(二卷)韻補正(一卷顧炎武)古韻標準(四卷)四聲切韻表(四卷)音學辨微(一卷江永)聲韻考(四卷)聲韻表(十卷戴震)四聲均和表(五卷)示兒切語(一卷洪榜)

〔樂〕

律呂新論(二卷)律呂闡微(十卷江永)律呂考文(六卷錢塘)燕樂考源(六卷凌應堪)

前書目と相出入して、坊間得るに難からざる書目の一二を擧ぐ

れば、江永の古音標準、四聲切音表合本(三冊二圓)音韻闡微(六冊四圓)古音溯原、六書音徵の合本(十冊八圓五十錢)錢塘の説文解註(十冊五圓)段玉裁の説文解字註(十八冊四圓五十錢)段氏説文註訂(四冊八十錢)王紹蘭の説文段註訂補(八冊四圓半)桂馥の説文解字義證(三十二冊九圓)王筠の説文解字句讀(二十冊六圓五十錢)姚文田嚴可均の説文校議(四冊二圓八十錢)江沅の説文釋例(二冊八十錢)鈕樹玉の説文解字校餘(十六冊七圓五十錢)鄭珍の説文新附攷(二冊二圓)朱駿聲の説文通訓定聲(二十四冊七圓)同石印本(八冊二圓二十錢)閻若璩の尙書古文疏證(十二冊三圓五十錢)惠棟の易漢學(二冊五十錢)惠士奇的禮説(三冊二圓五十錢)閻若璩の四書釋地(五冊一圓六十錢)王引之の經義述

聞(十六冊四圓)任大椿の小學鈎沈(四冊一圓二十錢)顧震福の小學鈎沈續篇(四冊二圓五十錢)等あり、國朝學案小識(十二冊二圓五十錢)國朝漢學師兼記(四冊一圓)等を参照すべし

附録

學者の用意

天下讀むべきの書太多し、讀んで解せられざるものは未だこれ有らず、されども讀書の力に淺深あり、その書に難易あり、解せられざるもの鮮しと雖も、易解のもの亦至つて少なし、その解し易からずといふこと、その難、字義にあることあり、又文義にあることあり、文義の難きは著者の思想が艱深にして解しにくきなり、これ著者の思想を解し得るまでに、讀者の讀書

力が進みし後ならでは、その明解を得ることかたし、されども難きこと其字義にあらば、讀者はその字義さへ解し得なば、その門關を排して進むこと決して困難ならざる道理なり、これ字書の必要なる所以なり

天下讀むべきの書斯の如く太多し、然れども讀むに足らざる書亦少しといふべからず、嚴重にいへば、もと讀むて益なきの書有るべからざる道理なれども、限り有る時間に書を読むを要する多數の讀書生は、その善惡を簡擇して然る後に書を読むべきこと、これ至當の順序なるべし、こゝに於て解題書の必要生

ず
尾崎雅嘉の群書一覽によれば、當時(享和)の書目録及び解題書
は左の如し

- 本朝書籍目録 (一巻寫) 大外記業忠
- 日本書籍考 (一巻) 林道春
- 經典題說 (一巻) 全上
- 和板書籍考 (十卷五本) 幸島宗意
- 辨疑書目録 (三巻) 中村治重
- 合類書籍目録大全 (十二巻)

- 國朝書目 (三巻) 藤原貞幹
- 和漢群書作者目録 (四巻) 尾崎雅嘉

其他重要なるものに、藤原佐世の日本國見在書目(一巻)渥美忠篤の御書籍目録(四十三巻)近藤守重の右文右事(十三巻)慶長勅板考(一巻)寫本譜(二巻)楓山貴重書目(一巻)正齋書籍考(二巻)狩谷望之の經籍訪古志(六巻補遺一巻)戸田氏徳の雜書解題(十七巻分類目録二巻撰者小傳六巻)間宮士信の記録解題(五十八巻總目一巻)鶴飼信興の水戸史館珍書考(一巻)及び不忍文庫改正書目(六巻番外書目二巻)足利學校書目(一巻)昌平學校宋元版書目(二巻)彰考館書目(一巻)紅葉山文庫書目(六巻)林崎文庫書籍目録(二巻)林

家書目(十卷)等あり、中に就て經籍訪古志(活字版)正齋書籍考は刊行せられ、右文故事は、本年國書刊行會の正齋全集中に收められて出版せられたり、初學者の架上には、この各種の解題書を要せずと雖も、國書刊行會本の右文古事、尾崎雅嘉の群書一覽(六冊一圓八十錢)狩谷掖齋の經籍訪古志(八冊三圓)等は缺くべからず、近刊の國書解題(再版十七圓)中根淑の慶長以來諸家著述目錄(三卷)等も參考に供すべし、共に得易き本なり

支那本には、四庫全書總目(百二十冊十七圓)式古堂目錄(二冊六十錢)朱記榮の彙刻書目(二十冊三圓五十錢)張之洞の書目答問(二冊七十五錢)直齋書錄解

題(六冊一圓二十錢)徐維則の東西學書錄(六冊一圓三十錢)四庫簡明目録付書目答問(石印本一圓)等新本にて得易く、其他は八史經籍志、錢東垣輯釋の崇文總目、天祿琳瑯書目正續、甯宋樓藏書志、行素艸堂目睹書目、浙江採集遺書總錄、愛日精廬藏書志等の數書あり、普通は簡明目録一卷にて足れり、邦刊本には、桂湖村の漢書解題(一冊三圓)あり

和字書には、古きは、倭名類聚鈔(二十卷)倭爾雅(八卷)日本釋名(五卷)東雅(二十卷)和訓栞(九十六卷)雅言集覽(四十七卷)あり、今本にて落合直文のことばの泉(五圓五十錢)國書辭典(二圓)大槻文彦の言海(二圓五十錢)縮刷

本(圓)物集高見の日本大辭林(五圓)等あり、國文研究法語學の部參看すべし

支那本には、黃蕙田の十三經集字音釋(四冊二圓五十錢)阮元の經籍纂話并補遺(六十四冊十六圓)康熙字典(四十冊六圓)等よし、若し佩文韻府(百冊四十五圓)あらば尙可なり、康熙字典は、弘文館に邦刻本の縮刷本あり、これにても事足るべし、佩文韻府、淵鑑類函の類、又石印の巾箱本あり、然れども實用に適せず

讀書便覽終

明治三十九年七月卅一日印刷
明治三十九年八月五日發行

讀書便覽奧附一

正價金參拾錢

山方香峰

東京市京橋區南紺屋町十二番地

増田義一

東京市京橋區西紺屋町廿六七番地

佐久間衡治

東京市京橋區西紺屋町廿六七番地

株式會社 秀英舍



不許複製

著作者

發行者

印刷者

印刷所

發兌元

東京市京橋區南紺屋町十二番地(電話新橋八百七十四番)

實業之日本社

大賣捌所

東京堂、東海堂、北隆館、上田屋、良明堂、至誠堂、大阪盛文館、杉本書店、名古屋川瀬代助

◎實業之日本社發行書目◎

高橋五郎先生新著 (新刊)
新處世觀
 大隈伯序 三宅坪內有賀山中館諸博士追懷文
 高田早苗先生跋 瀧田斬雲新著

天下の記者
 谷千城子題字大石正巳先生序 中島氣輝君新著

禁酒禁煙の五年間
 江口岳東纂譯 (新刊)

實業大家 獨立自營
 山形香峯新著 (新刊)

讀書便覽

心機轉換法
 蘆川忠雄君新著
 英國アララフ著 日本海嶽生譯

最新記憶法
 英國アララフ著 蘆川忠雄君譯

頭腦明快法
 蘆川忠雄君著

文章大成
 鶴岡天淵君編著

書信文大成
 鶴岡天淵君編著

實業之日本記者 岳淵生著
新時代之青年
 土屋長古君新著

中野觀象君著
商業智囊
 橫嶺改頁單式簿記法

報知新聞記者 市吉徹夫君著
地理と商品
 農事試驗場 淺井俊侃君新著

信州養蠶家 宮入長右衛門君新著
最新農業經營

經濟的育蠶法

三輪田眞佐子女史序 鶴岡天淵君編著
婦人消息文
 四谷龍顯君譯著

中演醫學博士序 明治生命保險會社總崎貞夫君著
婦人の重寶
 萬朝報記者湯朝觀明君新著

少年立志
生命保險提要

立志冒險旅行
海軍凱旋寫真帖

陸軍凱旋寫真帖
滿韓寫真帖

陸海軍寫真帖

◎大版 全一冊 六拾錢
 ◎定價 五拾錢
 ◎郵稅 六錢

◎大版 全一冊 八拾錢
 ◎定價 五拾錢
 ◎郵稅 八錢

◎大版 全一冊 五拾錢
 ◎定價 四拾錢
 ◎郵稅 五錢

◎中版 全一冊 四拾錢
 ◎定價 四拾錢
 ◎郵稅 四錢

◎三六版 全一冊 四拾錢
 ◎定價 參拾錢
 ◎郵稅 四錢

◎全一冊 四拾錢
 ◎定價 四拾錢
 ◎郵稅 六錢

◎全一冊 近五拾錢
 ◎定價 四拾錢
 ◎郵稅 四錢

◎大版 全一冊 五拾錢
 ◎定價 四拾錢
 ◎郵稅 四錢

◎全一冊 五拾錢
 ◎定價 四拾錢
 ◎郵稅 四錢

◎全一冊 五拾錢
 ◎定價 四拾錢
 ◎郵稅 四錢

◎中版 全一冊 五拾錢
 ◎定價 四拾錢
 ◎郵稅 四錢

◎中版 全一冊 五拾錢
 ◎定價 四拾錢
 ◎郵稅 四錢

◎定價 廿五錢
 ◎郵稅 四錢

◎定價 廿五錢
 ◎郵稅 四錢

◎定價 廿五錢
 ◎郵稅 四錢

◎大版 全一冊 五拾錢
 ◎定價 四拾錢
 ◎郵稅 八錢

◎大版 全一冊 五拾錢
 ◎定價 四拾錢
 ◎郵稅 八錢

◎大版 全一冊 五拾錢
 ◎定價 四拾錢
 ◎郵稅 八錢

◎三六版 全一冊 五拾錢
 ◎定價 四拾錢
 ◎郵稅 八錢

◎三六版 全一冊 五拾錢
 ◎定價 四拾錢
 ◎郵稅 八錢

法學博士和田恒謙三 高橋五郎 兩先生序
人生の慰安

盧川忠雄君著
全一册 五拾大錢
正價 五拾大錢
郵稅 八拾大錢

島田三郎先生序 蘆川忠雄君著
常識の修養

大版 全一册 六拾大錢
正價 五拾大錢
郵稅 六拾大錢

男爵濫澤榮一先生序 蘆川忠雄君著
實務才幹訓練

大版 全一册 八拾大錢
正價 五拾大錢
郵稅 八拾大錢

實業之日本社編輯局編纂
人生の奮闘

大版 全一册 八拾大錢
正價 五拾大錢
郵稅 八拾大錢

向上發展 實業之日本社編輯局編纂
處世要訣

全一册 四拾大錢
正價 四拾大錢
郵稅 六拾大錢

米國教育家ライチンク著 堀内新泉譯
不平慰安法

全一册 六拾大錢
正價 六拾大錢
郵稅 六拾大錢

實業之日本社編纂 (口繪富豪の家庭)
日本富豪の家風

全一册 五拾大錢
正價 五拾大錢
郵稅 六拾大錢

中橋德五郎君序 四村正雄君著
最新事務法

中版 全一册 四拾大錢
正價 四拾大錢
郵稅 四拾大錢

法學博士菊池武夫先生序 鶴岡天淵著
貧者の福音

中版 全一册 四拾大錢
正價 四拾大錢
郵稅 四拾大錢

土屋長吉君著
商戰必勝

全一册 六拾大錢
正價 六拾大錢
郵稅 六拾大錢

土屋長吉君著 (裝飾實例卅六頁)
店前裝飾術

全一册 四拾大錢
正價 四拾大錢
郵稅 四拾大錢

土屋長吉君著
商品と商業經營

全一册 六拾大錢
正價 六拾大錢
郵稅 六拾大錢

米國實業界の泰斗カネギ翁著
早稻田大學講師 伊藤重次郎君譯
實業の鍵

大版 全一册 六拾大錢
正價 六拾大錢
郵稅 六拾大錢

報知新聞記者 西岡英夫君著
立身と繁昌

全一册 四拾大錢
正價 四拾大錢
郵稅 四拾大錢

東方伯暹字 大隈伯序 今井忠雄君著
滿洲案内

全一册 三拾大錢
正價 三拾大錢
郵稅 三拾大錢

東亞の 大隈伯序 今井忠雄君著
滿洲案内

全一册 三拾大錢
正價 三拾大錢
郵稅 三拾大錢

城陽 加藤政之助君著 (朝鮮事業案内)
韓國經營

大版 全一册 六拾大錢
正價 六拾大錢
郵稅 六拾大錢

城陽 加藤政之助君著 (風俗風景寫真卅餘個)
滿洲處分

大版 全一册 六拾大錢
正價 六拾大錢
郵稅 六拾大錢

在上海前讀實新聞記者長谷川宇太治君著
渡清案内

全一册 四拾大錢
正價 四拾大錢
郵稅 四拾大錢

△附錄 日清交通地圖△口繪寫真版四枚

實業之日本臨時增刊
職業大觀

正價 廿二錢
郵稅 二錢

米國自助的成功者ジョン・グラハム著
處世大觀

正價 廿二錢
郵稅 一錢五厘

成功者 實業之日本社編纂
處世教訓

特別 五拾五錢
上製 五拾五錢
郵稅 八錢

米國自助的成功者ジョン・グラハム著
英文處世教訓

正價 卅五錢
郵稅 卅五錢

米國女學記者ヘン氏著 實業之日本社編纂
女子處世訓

全一册 卅五錢
正價 卅五錢
郵稅 卅五錢

永野耕造君著
商業修身訓

上中下 卅三錢
正價 卅三錢
郵稅 卅三錢

29/11/39

男爵前島密先生序 澤村幸一郎 菊地量平 兩君共著
國民實業指針

中野觀象君著
最新外國商業地理

宮田千年君著
世界商業史綱

商業學士 小林行昌君著
英和商用文教科書

渡邊久太郎君著
最新商品教科書

五十嵐治郎君新著
最新商業算術

◎◎◎大版金一册
◎◎◎正價五拾錢
◎◎◎郵稅八錢

◎◎◎洋裝金文字入
◎◎◎正價五拾五錢
◎◎◎郵稅八錢

◎◎◎洋裝金文字入
◎◎◎正價六拾錢
◎◎◎郵稅六錢

◎◎◎洋裝金文字入
◎◎◎正價四拾五錢
◎◎◎郵稅八錢

◎◎◎全一册大版
◎◎◎正價五拾錢
◎◎◎郵稅八錢

◎◎◎上製金文字入
◎◎◎正價八拾錢
◎◎◎郵稅四錢

水島卯高 高等商業學校長序 竹内正太郎君著
商業簿記獨習書

村瀬玄君 竹内正太郎君共著
最新商業簿記

日本石油會社會計課長竹田常治君新著
實用家計簿記

堀内新泉君新著
母の書簡

土屋長吉君新著
折衷最新式簿記

構山純一君著
英文簿記例題

◎◎◎全一册大版
◎◎◎正價七拾錢
◎◎◎郵稅八錢

◎◎◎全一册大版
◎◎◎正價三拾六錢
◎◎◎郵稅六錢

◎◎◎全一册大版
◎◎◎正價四拾六錢
◎◎◎郵稅六錢

◎◎◎價四拾錢
◎◎◎郵稅六錢

◎◎◎全一册
◎◎◎定價卅五錢
◎◎◎郵稅六錢

◎◎◎正價二拾錢
◎◎◎郵稅貳錢

白露生著 (口繪十傑肖像挿入)

最近 成功十傑

實業之日本社編纂 (口繪肖像挿入)
當代の人物の解剖

桑谷克堂著 (口繪肖像挿入)
成功富豪の面影

實業之日本社編纂 (口繪肖像挿入)
實業家人物評論

鈴木光次郎君著
現名家流奇談

實業之日本社編纂
實業家奇聞錄

◎◎◎正價五拾錢
◎◎◎郵稅六錢

◎◎◎正價五拾錢
◎◎◎郵稅六錢

◎◎◎正價五拾錢
◎◎◎郵稅六錢

◎◎◎正價五拾錢
◎◎◎郵稅六錢

◎◎◎特別減價
◎◎◎郵稅共四拾錢

◎◎◎正價參拾錢
◎◎◎郵稅四錢

◎◎◎正價參拾錢
◎◎◎郵稅四錢

米國富豪カ一子一ギ一翁著 小池靖一君譯

實業の帝國

米國富豪カ一子一ギ一翁著 伊藤重治郎君譯
富の福音

實業之日本社編纂
成功錦囊

野田叱重君著
成功青年立身訓

岳淵生著 (三版)
品性の光輝

正岡發陽著
致富成業策

◎◎◎正價卅五錢
◎◎◎特別上製五拾錢
◎◎◎郵稅六錢

◎◎◎正價四拾錢
◎◎◎特別上製五拾錢
◎◎◎郵稅八錢

◎◎◎正價參拾錢
◎◎◎郵稅四錢

◎◎◎正價參拾錢
◎◎◎郵稅四錢

◎◎◎正價參拾錢
◎◎◎郵稅四錢

◎◎◎正價卅五錢
◎◎◎郵稅六錢

◎◎◎正價參拾錢
◎◎◎郵稅四錢

法學士 島村孝三郎君著
最新經濟學

◎並製九拾錢
◎上製壹圓拾錢
◎郵稅各拾錢

小林行昌君 土屋長吉君 共著
中等經濟學

◎正價四拾錢
◎郵稅六錢

天野爲之君校閱 土屋長吉君著
應用經濟學

◎正價四拾錢
◎郵稅六錢

法學博士高田早苗君先生序 蘆川忠雄君譯
青年處世法

◎大版全一册
◎價五拾錢
◎郵稅八錢

法學士 守原源次郎君著
獨逸社會史

◎正價四拾錢
◎郵稅六錢

報知新聞記者 條田瀧浩君著
通俗小僧學問

◎袖珍美
◎正價二拾錢
◎郵稅四錢

土屋長吉君著
最新商業要綱

◎並製七拾錢
◎上製八拾五錢
◎郵稅各拾錢

中野觀象君著
商業書信文範

◎正價四拾錢
◎郵稅八錢

高間昭君著
最新珠算全書

◎正價卅五錢
◎郵稅六錢

小林行昌君 高平精一君 共著
最新英國商業實務

◎上製金文字入
◎價壹圓廿錢
◎郵稅拾錢

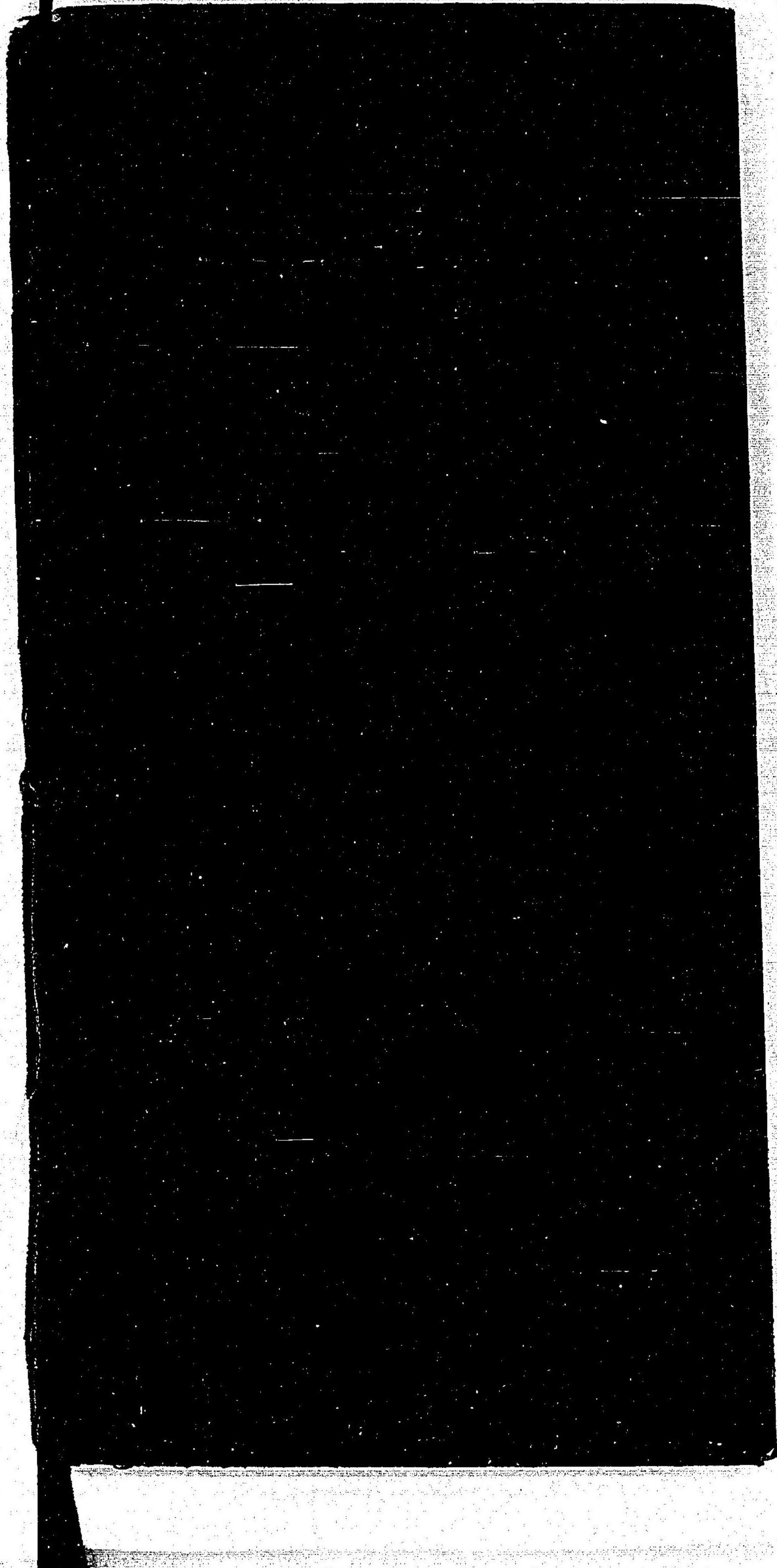
土屋長吉君著
簡易商業學

◎上下二册大版
◎正價四拾錢
◎郵稅八錢

土屋長吉君著
商家繁榮策

◎正價五拾錢
◎郵稅六錢

279
11



101503-000-8

279-11

讀書便覽

山方 香峰/編

M39

EAA-0063



